

## 関上地区まちづくり協議会 検討テーマの整理

		現行計画	比較対案
区画整理の基本的考え方		塩釜巨理線の東側は嵩上げや避難路の整備等により安全性を高める。	
区画道路の配置・幅員	全体の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区南側に幹線道路(関上港線)を配置し、地区内の通過交通を排除する。</li> <li>地区北側の東西方向の幹線道路(関上港北線)は避難道路として四郎丸方面に抜ける道路として位置づけられている。</li> </ul>	
	前提条件	関上港線、塩釜巨理線の配置は都市計画決定済みであり変更不可	
	配置	街区の配置は南北を基本とし、幹線道路からの住宅地への乗り入れは行わず、区画道路から原則乗り入れる。	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>関上は東西の風が特徴であるため、住戸内を風が通りやすいよう東西どちらかが街路となる配置とする。</li> <li>住区内生活道路の安全性を考慮して、幹線道路への接続の制限、幹線道路に接道する住宅地を制限している。</li> <li>どの住戸からも中央緑道へ向かいやすい配置とする。</li> <li>同じ幅員の道路が交差する十字路は極力設置しない。</li> <li>幹線道路の交差点は極力少なくする。(250m以上の間隔が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑道を道路が横断しない計画のため、南北の行き来がしにくい区域があることから、塩釜巨理線の東側に南北の道路を一本追加して見てはどうかという案がある。</li> <li>四郎丸方面の地区外の道路の整備位置との関係で関上港北線の位置が変更となる可能性がある。</li> </ul>
	幅員	幹線道路(関上港線など):21m	
		2車線道路、両側歩道(2.5m)、自転車道(2m)、植樹帯等	
		街区道路(関上港北線など):15m	
2車線道路、両側歩道(3.5m)、自転車専用通行帯(1m)			
地区内道路:11m			
2車線道路、片側歩道(3m) ※学校東側に配置			
生活道路:6m			
最低幅員として設定			
公園の配置・規模	全体の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の誘致圏域を考慮して配置。</li> <li>地区中央部に緑道(幅員15m)を配置し、避難や通学の安全性を高める。</li> </ul>	
	前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区全体の3%が公園・緑地の面積</li> <li>半径250mに公園を配置</li> <li>公園内の施設や遊具、植樹等は未定</li> </ul>	
	配置	住居と工業・寺社との間	住居の中央
		騒音などからの緩衝として公園を配置する。	公園を取り囲むように住居を配置する。
	規模	どの公園も街区公園の標準規模(2,500㎡)を目標	各公園ごとに規模を設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>2,500㎡を目標に街区形状を踏まえた規模とする。</li> <li>緑道は延長約1,000mで面積は幅員15m×延長735mで1.1haとなる。幅員は変更の可能性はある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大小さまざまな集まりがあり、公園ごとの特徴づけを検討している。</li> <li>例えば、地区中央の公園を大規模化する等</li> </ul>	
災害公営住宅	全体の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の意向に基づき必要戸数を整備</li> <li>基本的に地区東側に集合住宅、西側に戸建て住宅を中心として配置。</li> </ul>	
	前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸数:集合住宅267戸、戸建住宅257戸を計画。</li> <li>建物等の設計は未着手。</li> <li>単身世帯の戸建て及び集合の3LDKは入居不可</li> <li>4人以上世帯の1LDKは入居不可</li> </ul>	
	詳細設計	東側集合住宅は1階を非居住階、最上階に避難スペースを配置	
		設備、色彩、外構等は未定	
		間取りは戸建、集合とも1LDK、2LDK、3LDK	
現時点で車いす対応住宅は集合2LDK			
ベランダ、玄関以外は基本的にフラット			